

花実の森のササユリ 種から“里親育苗”を試行



毎年6月になれば清楚な花を咲かせ楽しませてくれる“花実の森”のササユリたち。100輪はあるだろうが最近では減少傾向ではないかと気がかりなところ。自然の中で子孫を継承していける生存率の厳しさを知らされる。



そこで、今花実の森にたくさん自生しているササユリを絶やさないように、少しでも増えていくようにとの思いから、花実の森の中に育苗ポットに種をまき、林内に設置してみました。活動日以外の世話がゆき届かず、特に夏季の水不足などから枯渇してしまう状況を繰り返してきました。

そこで、苦肉の策として2018年6月の開花の内、11月末に3個の種穂を採種、自宅での“里親育苗”にトライしてきました。ここでその経過観察の状況をまとめてみました。今後の参考になれば幸いです。

◎ 今まで現地“花実の森”内で実施してきた育苗活動の方法



- ← 種の採取
中の種が十分熟したものを採取
- 種まき
現地の腐葉土に鹿沼土を加え育苗ポットに2~3粒ずつ植えていく



腐葉土・鹿沼土・赤玉土などの混合具合を示した名札を付けて生育具合を観察



花実の森内 半日陰の場所に置き育苗観察開始。結果的には、3年目の春に発芽してきたものの、夏の水やり不足、日照過多、雑草の繁茂などにより消滅。残念！

◎花実の森内での育苗はあきらめ、2018年12月から“里親育苗”として自宅での育苗を試行
＝今回は2023年11月の里帰り苗に育つことをめざす＝

【種の確保と植え付け】

2018年11月末に種穂3個採種
12月初旬にポットに種の植え付け

発芽までには、ひと冬・ひと夏の土中生育を必要とするため、発芽が期待できるのは、15か月後の2020年3月頃の予定。その間も適度な水やりと、半日陰など置き場所の移動に気を配り、発芽に向けての球根生育に期待する。



2018年11月 種の確保

ひとつの花からはびっしり詰まった種が入っており、その数約1,000粒くらいかな？



2018年12月種まき

ここでも腐葉土、鹿沼土、赤玉土などの混合分けをした土をポットに入れて種まき、その生育状況に差があるかを観察してみる。

ポットの数 = 65 個

植えた種の数 = $65 \times 3 \sim 4 \text{ 粒} \div 250$



【樹木下など半日陰に置き生育観察開始】
【2018年12月から16か月(3年目)を経て発芽した後の生育管理】

【2020年3月(15か月経過)発芽に成功】



当然ながらどの
種も1枚葉

15か月を経た2020年3月、待ちに待った【発芽】に“待ってたよ”と歓迎。
(発芽率=1ポットに1~2本の発芽で約50%) 自然界での発芽率数%に比べてダントツに高い率 やはり人の管理の手が届くと育ちも良いということ
その後も適度な水やりと、木陰など日照場所を考えながら「なるべく自然な環境生育」を目指すことに。

【2022年5月~8月(植えから2.7年=33か月経過)】



この頃から少しずつ成長に差が表れ始める。早いものは茎をもち、葉も2, 3枚つけてきた。

【2022年11月(植えから丸4年 球根の植替え)】

種を植えてから4年(48か月)が経過し、球根もそれなりに育っているものと判断、今後の球根の生育を考え植替えをすることを決断。植え後初めて球根を掘り出してみた。



植替え前の様子
球根を残し、葉は枯れ落ちた状態



掘り出した球根は土を落として水洗い後しっかり消毒
3 cm球 = 3個 2 cm球 = 15個 1 cm球 = 30個
1 cm未満球 = 50球



3 cm球 = 3個の鉢に1個ずつ



2 cm球 = 16個のポットに1個ずつ



1 cm球 = 16個のポットに2個ずつ



1 cm 未満球 = ばら植え

さあ 来年の春にはどんな姿で芽生えてきてくれるかな？

【2023年4月 6年目の生育状況】球根を植え替えて最初の春



しっかりと全数が芽を出してきた。ただし、生育の度合いはかなり差があり、まだ一枚葉のものから茎を伸ばし葉を3~4枚付けたものも多い。



6年目だというのに今年もまだ一枚葉のままの苗もあり。新しく分岐して育ってきたものかな？



いちばん成長の良いものはつぼみをつけている株が2本あるのには驚いた。

その2本も6月2日に1輪開花、6月6日にもう1輪開花。感激の対面です。来年は30~40輪が期待できそうなので、今年の11月に故郷の花実の森に里帰りの植替えを予定しております。



元気に育て里子のササユリたち。

【球根の里帰り】

【2023年11月の晩秋 いよいよ球根の里帰り】

【11月22日花実の森活動日】



今回里帰りさせる6年目のササユリ



球根の水洗いと消毒作業



里帰り用植樹穴を20か所掘り起こし



移植地20か所にササ棒で1～20の番号札表示

【我が家の里子ササユリの植替え 2023年11月29日】



11月22日に花実の森に
里帰りさせた6年目のサ
サユリ苗20株

今回植替えを行った苗
大小合わせて約50株



6年目だということにまだ茎もなく1
枚葉の球根もあり



掘り出した球根は水洗いと消毒を行い、少し
乾燥後新しい土に植替える



2~3cmに育った球根は鉢に、
それより小さい球根は育苗ポット
へ植替え





植替えが残っていた3鉢（3株）を2023年12月90日に完了。

小さい分岐球根2個と鱗片2枚を植替え。

【鱗片繁殖について】WEB サイトからの情報

2024年11月の植替え時に実施の予定



ユリの球根は、たくさんの鱗片が集まった鱗茎と呼ばれるもの。この鱗片を用いて繁殖させる方法を鱗片繁殖という。

9月は鱗片繁殖の最盛期といえる。

十分に肥大した、ウイルス病に汚染されていない球根を掘り出し、きれいに水洗いし鱗片をはずすが、一番外側と、中心部分は除く。

チウラム・チオファネートメチル水和剤で消毒し、湿らせたバームキュライトなどの挿し木用土に、**鱗片の半分ぐらいが土に入るように挿す。このとき、鱗片の切り口が下になるようにする。**

鱗片の感覚は、3～5mm くらい。平鉢を使うのが一般的だが、ビニール袋などでも大丈夫。密閉して半日陰の場所に置く。温度は20℃前後が最適。

用土の表面が乾いたら水やり。

2～3か月くらいたつと、鱗片の切り口に小さな球根が形成される。春になるとこの球根から葉が出てくるので、1個1個別々に外して植え付ける。